

ビジネス情報科・ビジネス科 3年A・B・C・D組

教科名	地理歴史	科目名	地理総合 (2単位)	
使用教科書	地理総合世界に学び地域へつなぐ(二宮書店) 詳解現代地図 最新版(二宮書店)		副教材等	地理総合ワークブック(二宮書店)

1 科目のねらい(目標)

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 科目・授業の内容と進め方

基本的な知識や地理用語を確認し、地図・図表を読み取り、それらの知識を用いて考察をするといった作業も行う授業を展開していく。

毎時間、教科書やプリントでの作業や考察を行い、点検することで作業の様子を確認する。周りとは相談しながら授業プリントを完成させ、その後、自分で確認をしながら考察・問題等を解く。

定期考査は、授業の中で行った作業や計算問題からも出題し、地球規模で起こる現象などについて自分の言葉で説明するような問題も出題する。

3 学習の方法

- ・授業を大切にして、授業の中で理解できるよう集中して臨み、メモをとる。
- ・計算問題やグラフや地図の作成など日々の授業における作業をしっかり行う。
- ・時事問題に興味を持ち、世界で今どんなことが起こっているか常に関心を向けられるようにする。

4 課題・補習について

- ・考査ごとにワーク提出を行う。
- ・定期考査後、理解が低い場合、追試などの補習を行う。
- ・長期休暇中に調べ学習を行い、レポートをまとめ提出する。

5 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、より良い社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとしている。

ビジネス情報科・ビジネス科 3年A・B・C・D組

教科名	地理歴史	科目名	地理総合 (2単位)
-----	------	-----	------------

6 年間の学習計画

月	単元名	学習の内容	評価方法 (課題等)
4	第1章 地図とGISの活用 導入 地理の扉 1 球面上の世界 2 世界からみた日本の位置と領域 3 国内や国家間の結びつき 4 暮らしのなかの地図とGIS	位置の基準～地球上の緯度・経度 時間の基準～時差と標準時 視点を変えてみた日本の位置 国家とその領域 海に広がる日本の領域 日本の領域に関する問題 国家間の結びつき 交通・通信による結びつき 貿易・物流による結びつき 観光による結びつき 身の回りの地図を集める 地理院地図の活用 地図・GISのしくみと役割	・行動観察 ・プリントチェック (知・技、思・判)
5	第2章 地理的環境の特色 導入 写真から読み解く地理的環境の特色 1 地形と生活文化 2 気候と生活文化 3 産業と生活文化 4 宗教・言語と生活文化	変動帯とプレート 河川がつくる地形と生活 海岸の地形と生活 大気循環 気候の地域性 ケッペンの気候区分 熱帯の自然環境と生活 乾燥帯の自然環境と生活 温帯の自然環境と生活 亜寒帯・寒帯の自然環境と生活 農業の発展と生活文化 工業の発展と生活文化 商業・サービス業の発展と生活文化 宗教の分布と生活文化 言語の分布と生活文化 移民と難民 生活文化の多様性	
6	第3章 世界各地の生活文化 導入 各地域の生活文化と地理的環境のかかわり 1 経済発展と生活文化の変化～東アジア 2 宗教の多様性と生活文化～ASEAN 諸国	経済発展を支える自然・農業と生活文化 市場経済化と生活文化の変化～中国 輸出による発展と生活文化の変化～韓国 経済発展による変化と課題 多民族文化と ASEAN の統合 宗教にねざした生活文化と産業 多様な宗教・言語と経済統合による課題	前期中間考査 ・考査で評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)
7 8	3 水の恵みと生活文化～南アジア 4 イスラーム社会の多様性と生活文化～イスラーム圏	河川による恵みと生活文化 水の恵みによる発展と課題 乾燥地域とイスラームの社会 経済発展とイスラームの社会の変化 イスラーム圏の現状と課題	・行動観察 ・プリントチェック (知・技、思・判) ・レポートチェック (主体的)
9	5 多様な気候と生活文化～アフリカ 6 経済統合による生活文化の変化～EU と周辺諸国 7 寒冷な気候と生活文化～ロシア	多様な自然環境と生活文化 経済成長と自然環境の変化による課題 経済発展の礎となった自然環境と農業 産業・交通の発達による一体化 統合を進める背景と言語・宗教の多様性 経済統合と政治統合の進展と課題 寒冷な気候と生活・産業 寒冷地域の開発による成長と課題	前期期末考査 ・考査で評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)
10	8 グローバル化による生活文化の変化～アメリカ・カナダ 9 土地の開発による生活文化の形成～ラテンアメリカ 10 植民と移民による生活文化の形成～オセアニア	経済発展の基盤となった社会の多様性 大規模な農業とグローバルな食文化 グローバル化による変化と課題 開発による農牧業の発展と生活文化 開発による発展と社会にみられる課題 植民による開発と生活文化 移民と多文化社会にみられる課題	・行動観察 ・プリントチェック 後期中間考査 ・考査により評価
11	第4章 地球的課題と国際協力 導入 相互に関連する地球的課題～SDGs 1 地球環境問題 2 資源・エネルギー問題 3 人口・食料問題 4 居住・都市問題	環境問題と持続可能な社会 国境を越える汚染 森林減少・砂漠化とその対策 気候変動とその対策 鉱物資源・エネルギー資源とその課題 資源のリサイクル・再生可能エネルギー 人口と人口問題 世界各地の人口問題 2つの食料問題 食料問題の背景と解決策～サブサハラ 発達する都市 都市への人口集中にともなう問題 居住・都市問題と都市計画	・ワーク提出 (知・技、思・判)
12	第5章 生活圏の諸課題 1 日本の自然環境と防災 導入 世界地図でとらえる自然災害のリスク 1 世界からみた日本の地形の特色 2 世界からみた日本の気候の特色 3 風水害と防災 4 火山の噴火と防災 5 地震・津波と防災 6 都市型災害と防災 7 防災への心構え～自助・共助・公助～	日本列島の特色 日本の河川の特色 生活との関わり 地域により異なる気候 冬の気候 周期的に変化する春の気候 夏の気候 台風と秋の気候 雨による災害 雪による災害 風・高潮による災害 災害に対する備え 火山がもたらす恩恵 さまざまな火山と災害 火口から近い場所での被害 火口から遠い場所での被害 地震の発生メカニズム 津波による被害 地震による被害 都市河川と治水 帰宅困難者への対策 自助・共助・公助で考える防災 タイムラインで考える防災	・行動観察 ・プリントチェック (知・技、思・判) 学年末考査 ・考査により評価
1 2	2 生活圏の諸課題と地域調査 導入 地理の力で地域の課題を解決しよう 1 主題図からみた日本の特徴と課題 2 地域調査①事例地域の選定～事前調査 3 現地調査②現地調査～調査地図の作成 4 地域調査③他地域との比較～まとめ	日本がかかえる地域的課題 地域調査のテーマと目的 統計資料の入手と分析 事例地域の選定 地域の特徴をとらえる 現地調査に向けて 景観調査 聞き取り調査 2つの地域の比較 調査結果の整理・考察	・ワーク提出 (知・技、思・判) ・レポートチェック (主体的)